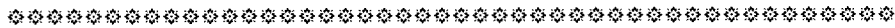


THE RECORD 1

2001
No.494

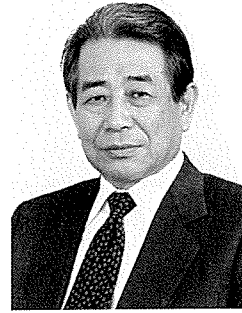
- 2000年レコード生産の概況（推定）
- 2001年の重要課題
- レコード会社が選んだ2000年の10大ニュース

RIAJ
Recording Industry Association of Japan

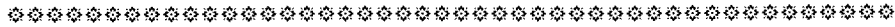


2001年頭所感

—新しい時代の 音楽文化基盤構築を目指して—



社団法人 日本レコード協会
会長 富塚 勇



新世紀を迎えて、皆様におかれましては希望に満ちた新年を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

私共日本レコード協会は、21世紀最初の年を時代の大きな節目として捉え、より積極的な活動を展開して参ります。

昨年は、デジタル・ネットワーク技術の進展が進み、会員各社の音楽配信サービスが開始された傍らで、技術進歩の不法な利用の蔓延から、世界の音楽業界が蹂躪された、とまで言える年でありました。違法ファイル交換ソフト・サービスやCD-R海賊被害の拡大が進む中、ますます増加・拡大していくグローバルな問題に対処し、国際機関との協力体制を更に強化していくことが、当協会の新世紀の主要な課題であります。

またここ数年、音楽業界に課されている大テーマは「総需要を如何にして戻していくか」ということです。継続する不況感に加え、少子化高齢化、劇的な消費動向分散化等から、2000年のオーディオレコード全体の生産実績は、15年振りの前年対比減少であった一昨年に引き続く前年割れでありました。

またミリオンヒットについても、アルバムはタイトル数が減少、シングルは一昨年より多いものの、その前年には及ばない状況です。この状況を打破するのは簡単なことではありません。市場の二極化は変わらず、更にメガヒットと呼ばれるもの自体が減少・縮小してきている動向を見据えて、よりの確なマーケティングに基づく配慮が非常に重要であります。昨年設立された(株)ジャパンミュージックデータ社による試聴システムの更なる拡大と、これに続く市場に見合った適切な需要拡大施策を引き続き検討・実施して参ります。

昨年末のBSデジタル放送開始は、新しいメディアとしての音楽文化に大きく貢献するものと期待を寄せる反面、未だ解決されていない問題もあります。現在係争中の「スターデジ100」に代表されるような衛星を使った音楽放送サービスが、技術革新とともにより拡大且つ利便性の高いものになり「放送と通信の融合化」の方向に進むと考えられる傍ら、本来音楽の権利者の權益を守るはずの著作権法や放送法が、この流れに追いつけない状況であることは、音楽・放送それぞれの相互貢献を大きく阻害するものであり、早急な法整備が必要であります。

数年に亘る懸案事項である著作物再販売価格維持制度見直しがこの3月に行われます。一昨々年3月同様今回も、皆様の多大なるお力添えを以て、国会議員、諸官庁の方々にもご理解をいただき、制度維持の確立に向けて努力して参りますので、なお一層のご支援を賜りたいと存じます。

近年諸外国でも日本の音楽文化への需要が高まりつつありますが、国境を超えたりスナーの拡大に、日本国内の法整備が追いつけないことから、日本の音楽文化がアジア圏に貢献出来る土壌が未成熟です。早急に日本国内消尽の譲渡権がレコード製作者の権利として認めらなければなりません。

以上のように需要拡大、新技術への対応、レコード製作者の權益確保、流通の安定化等、諸問題が山積してはおりますが、新世紀の門出を輝かしい音楽文化発展の年とするべく、当協会も内外の関係諸団体と力を合わせて積極的な活動を進める所存です。

皆様のなお一層のご支援ご協力をお願い申し上げて、新年の挨拶とさせていただきます。

2001年の重要課題

新年を迎えるに当たって、当協会では、会員各社に「2001年の重要課題」として掲げるべき事項を伺いました。その結果本年は、新世紀の音楽文化基盤構築を目指して、以下の課題に果敢に取り組むことが提唱されました。

再販制度の維持存続と需要拡大

●再販制度の維持存続に向けて

一昨々年の公正取引委員会の「性急に廃止等の結論を出すことなく、更に文化の振興・普及との関係も含め、引き続き検討を行うこととし、一定期間経過後（3年間を目途）に制度自体の存廃について結論を得る」との見解公表を受け、各社の努力により時限再販期間の短縮、価格の多様化など具体的な諸施策が次々に公表されていますが、会員各社の更なる努力と業界内外のご支援の下、3月の見直し時期を見据えて強力に再販制度の維持存続に向けた諸活動を展開していかねばなりません。

●需要拡大のための諸施策実施

～試聴システムの拡大、音楽ギフトカードの普及
当協会集計の昨年のオーディオレコード生産実績は、数量は横這いでしたが金額は一昨年に引き続いて前年割れとなりました。内容を分析してみると、少子化・高齢化、劇的な消費動向分散化等による、消費不況の影が色濃く反映されており、一昨々年と比較すると、結果10%以上の減少となります。また、数年続いている中規模ヒットのタイトル減少傾向による二極化現象は変わらず、更にメガヒットも減少するという、深刻な事態にあります。

これを払拭するには、少子化・高齢化に対応する確かなマーケティングに基づく配慮が重要であり、市場に見合った需要拡大施策に、当協会として一段と力を注がなければなりません。また第15回日本ゴールドディスク大賞の顕彰、ゴールドアルバム等の認定、音楽ギフトカードの普及促進等の、各種需要拡大施策にも、積極的に取り組んでいきます。

レコード製作者の権益擁護と拡充

●デジタル公衆送信権及び国内消尽の譲渡権の確立

マルチチャンネル放送やデジタル送信を通じ、レコードに収録された音楽が全曲放送・送信された場合、受信者は、MD等により簡単に、安く、市販CDと同等品質の複製物を入手することが可能です。このことは、レコード製作者が新しいレコードを製作し、発売するための原資の枯渇を招来します。

レコード製作者が新しい音楽を安心して製品化し、国民の音楽文化に寄与するためには、レコードの使用をコントロールするデジタル公衆送信権が必要です。

また近年諸外国特にアジア圏で需要が高まりつ

つある日本音楽文化の普及のためには、日本のレコード製作者が、安心して海外のレコード会社にライセンス契約できる譲渡権「外国では消滅しない譲渡権」が必要です。

技術革新への対応

●次世代オーディオにおける権利保護システム

次世代オーディオとしては現在、SACDが発売され、DVDオーディオも登場が間近になっていますが、コンテンツの権利保護については、ソフト、ハード間の相互理解が必要かと思われます。

我々レコード産業に携わる者も新しいパッケージメディアの可能性を追求し、育成していかなければなりません。コンテンツの権利保護の仕組みが確立し、ソフト、ハードが共に発展することが必要です。

権利侵害問題への対応強化

●インターネット違法配信、海賊盤・サンプル盤販売等の一掃

ナップスター、グヌーテラに代表されるインターネット上の無断音楽配信や、海賊盤・サンプル盤販売等の違法行為については、その一掃を目指して、引き続き厳格な対応を行っていきます。

音楽情報EDI化の整備

デジタル・ネットワーク時代では、楽曲が個別に流通を始めることとなりますが、これに際しては音源単位での管理体制が必要です。音楽情報EDI（電子データ交換）の整備を進め、効率的な産業構造への反映を目指します。

日本音楽の韓国及び東南アジアへの展開

韓国にて日本の大衆文化開放が間近である状況、加えてアジア諸国で日本の音楽への需要が高まっていることから、更に日本の音楽文化を広く浸透を図っていきます。前述「国内消尽の譲渡権」の獲得と合わせての実現が不可欠です。

著作権等管理事業法成立に伴う対応

昨年、著作権等管理事業法が第150回国会で成立しました。当協会は、同法の10月1日施行に向けて、多角的に調査及び検討を進めていきます。

2000年レコード生産の概況（推定）

2000年（1～12月）の当協会加盟24社（受託を含む）のオーディオレコード、ビデオレコードを合わせた総生産数量は、4億7,910万枚・巻（前年比100%）で横這い、総生産金額は6,741億円（前年比99%）となり、2年連続してダウンが見込まれます。

オーディオレコードの生産数量は、4億3,010万枚・巻（前年比97%）、金額は5,339億円（前年比94%）となり低迷状況が続いています。その内訳は、8センチCDは数量3,300万枚（前年比38%）、金額は150億円（前年比28%）となり大幅なダウンとなりました。一方、12センチCDシングルは数量1億4,000万枚（前年比170%）、金額は820億円（前年比175%）となりました。これはシングルは12センチCDシングルから12センチCDアルバムに急速に移行されたためとみられます。12センチCDアルバムは数量2億7,380万枚（前年比99%）、金額は4,210億円（前年比93%）で共に前年実績を下回りました。

ビデオレコードの生産は、DVDが数量2,450万枚（前年比388%）、金額は589億円（前年比378%）と急伸したことが大きく影響しLD、VHD、ビデオテープは前年実績を下回ったものの、全体では数量が4,900万枚・巻（前年比141%）、金額は1,402億円（前年比128%）となり大幅な増産となりました。

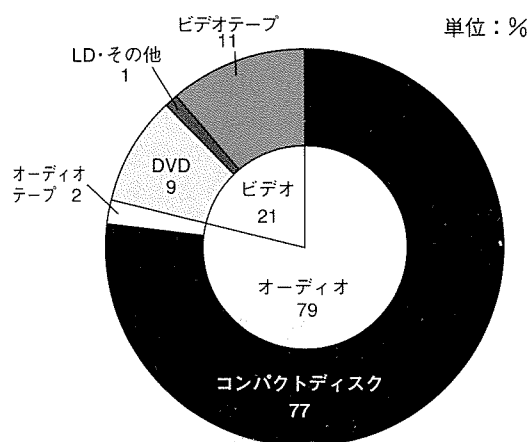
2000年1～12月レコード 総生産高（推定）

種 類		数量 (万枚・巻)	構成比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)
オーディオ レコード	8 cm C D	3,300	7	38	150	2	28
	12cmCDシングル	10,400	22	170	820	12	175
	12cmCDアルバム	27,380	57	99	4,210	62	93
	C D 計	41,080	86	97	5,180	77	94
	アナログディスク	190	0	64	20	0	56
	テ ー プ	1,740	4	99	139	2	95
	合 計	43,010	90	97	5,339	79	94
ビデオ レコード	D V D	2,450	5	388	589	9	378
	LD・その他	340	1	72	69	1	62
	テ ー プ	2,110	4	89	744	11	90
	合 計	4,900	10	141	1,402	21	128
総 合 計		47,910	100	100	6,741	100	99

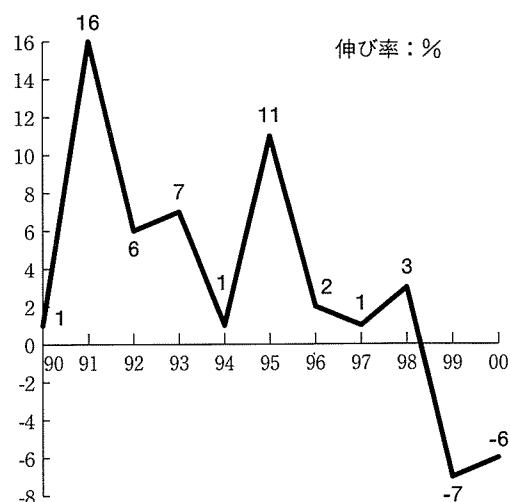
[参考]

AV複合型レコード	18,500	100	112	198	100	85
-----------	--------	-----	-----	-----	-----	----

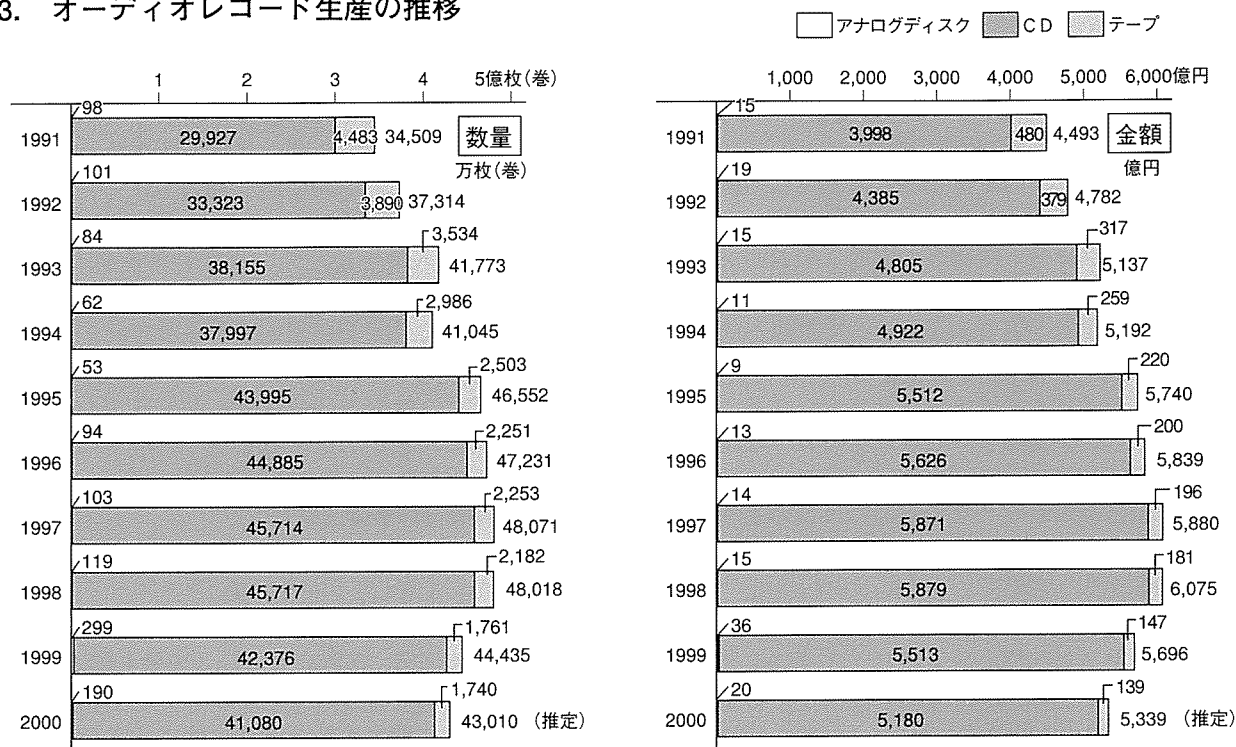
1. 2000年生産金額比率（推定）



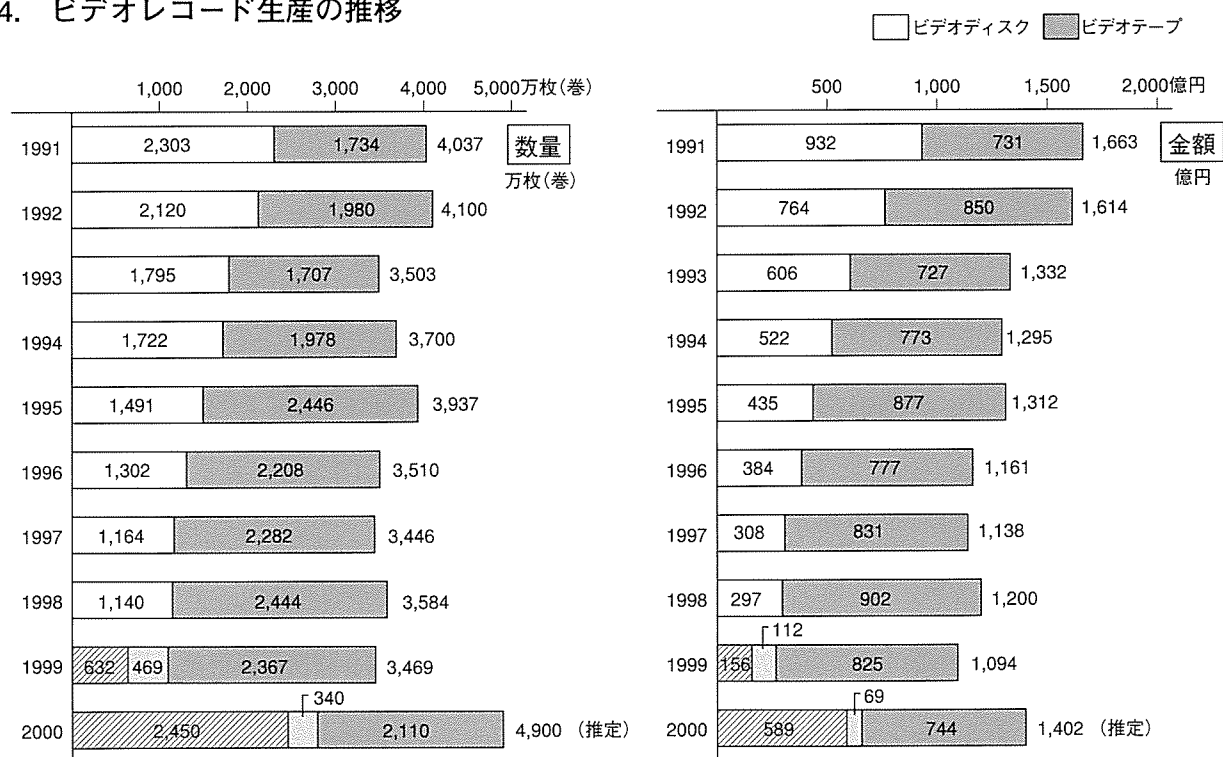
2. オーディオレコード生産金額伸び率推移



3. オーディオレコード生産の推移



4. ビデオレコード生産の推移



(注) ビデオディスクは99年から、DVD(▨)とLD・その他(□)に区分しました。

2000年の10大ニュース

1. 音楽配信ビジネスのスタートと、ナップスター、グヌーテラ等違法配信の横行

音楽コンテンツの配信サービス事業に、国内のレコード会社数社が参入しました。しかし、コンテンツ数やダウンロード時間等の問題で絶対的ダウンロード数が少ないのに対し、セキュリティ、オーサリング等の固定費があり、事業としては未だ成り立っていない状況です。

一方、アメリカではナップスター、グヌーテラ等の無料ファイル交換サービスによる著作権侵害が深刻化しています。

音楽配信事業が成り立つためにはこのような侵害の防止が不可欠であり、そのためにもISPの責任を明確にする法律の早期制定が望まれます。

2. DVDソフトの急激な拡大

日本映像ソフト協会発表のビデオソフト売上高によると、昨年9月、DVDビデオソフトがビデオテープを5万本以上上回りました。

昨年、DVDプレーヤーは一昨年の二倍の売れ行きを示しており、またDVD再生機能を備えた家庭用ゲーム機も低価格で発売され人気を呼びました。このようなハードの普及に併せて、低価格ソフトも増加し、一気に市場拡大したものと思われまます。

3. 再販制度存続へ向けての活動

公正取引委員会は、今年春を目途に音楽用CD等の再販制度の存廃についての結論を出すことになっています。当協会は、公正取引委員会との対話の場等において、再販が我が国の音楽文化の発展・維持に効果的に機能している制度であることを主張し、理解を求めました。また、音楽関係業界と連携し、再販存続のために「要望書」を国会・文化庁等の関係各所へ提出するなどの積極的な諸活動を展開しました。

レコード各社は、時限再販期間を更に短縮するなどの再販制度の弾力運用に積極的に取り組みました。

4. 業界不況、生産金額連続前年比割れ

～CDシングルの減少とマキシシングルの主流化

一昨年の生産実績前年割れに引き続き、昨年の生産金額実績も前年割れとなりました。原因としては、不況や少子高齢化による購買層の減少、消費動向の分散などが考えられます。

また、CDシングルの8cm盤が少なくなり、マキシシングルと言われる12cm盤のシングルが増加しました。

5. 株式会社ジャパンミュージックデータ設立

昨年6月、会員社の賛同・協力を得て「株式会社ジャパンミュージックデータ」が設立されました。

パッケージの拡売を目的とし、プロモーションツールとして試聴用音源、ジャケット写真データなどの運用、管理等の事業を行っています。

6. 癒し系(ヒーリング)音楽のヒット及び演歌久々の大ヒット

一昨年より人気を集めている癒し系音楽ですが、昨年はヒーリングをテーマに掲げたオムニバスアルバム2作品がミリオンに認定されるなど、ますます人気を集めました。

演歌界では、大泉逸郎の「孫」がトリプル・プラチナを獲得した他、若手演歌歌手「水川きよし」がデビュー、新たなファンを取り込みました。

7. 著作権等管理事業法成立

著作権等管理事業法が第150回国会で成立し、公布されました(平成13年10月1日施行)。

この法律は、近年の情報技術の進展に伴い、著作物等の利用が広範、多様化している実態を踏まえて、著作権等の管理を行う事業者について、昭和14年制定の「著作権に関する仲介業務に関する法律」を廃止して、これに代わる新たな法的基盤を目的とするものです(著作隣接権も対象)。

この法律により、著作権等の管理事業を行う者は、文化庁長官の「登録」を経て、委託契約約款及び使用料規定を「届出」することにより事業を行うことができることとなります。

8. 韓国において日本の大衆文化開放進む

韓国政府は、段階的に日本大衆文化の開放を進めており、昨年6月末には、日本人歌手の公演に対する人数制限が撤廃されました。

金大統領の会見によると、2002年ワールドカップ開催までに全面開放を目指しているとのことで、近々と囁かれるCD発売解禁に向け、日本のレコード会社の同国への進出が始まっています。

9. 協会定款改正に伴う新規加盟社募集

当協会は、業界団体としてより強化をはかるため、定款を改正し、新たに正会員、準会員、賛助会員の入会資格基準を設けました。

現在の会員社数は、正：20、準：1、賛助：3の合計24社です。

10. 音楽配信使用料認可される

日本音楽著作権協会が文化庁に認可申請していた音楽配信における著作物使用料率が、著作権審議会の答申を得て、ほぼ申請通り認可されました。

しかし一方で、同審議会は日本音楽著作権協会に対し「適切な運用上の工夫」を求めており、この趣旨を体した問題の解決が進められています。

CSMセンターが本格稼働 (CSM/コンテンツセキュリティ管理)

当協会は、音楽配信流通のセキュリティ基盤を構築するため、9月に「コンテンツセキュリティ管理センター（CSMセンター）を設立して、活動を開始しました（本誌9月号参照）。

顧問として、小松尚久早稲田大学教授を迎え、専門スタッフ、事務局スタッフの体制を整えて、各携帯電話事業者とCSMセンター/CSM-WG（会員会社の構成ワーキンググループ）との間で、具体的なセキュリティ計画書の策定作業を開始しました。

その第1号として、DDIポケットが進める音楽配信サービス「サウンドマーケット」（システム名：ケータイdeミュージック）のセキュリティ計画書について、両者間でのセキュリティ議論を進め、CSMセンターとしては、当サービスのセキュリティ計画の内容について、配信の上流から下流に至るまで、セキュアな環境にあることを確認しました。

また、同システムは公開鍵の認証を伴うことから、認証局としてのCSMセンターから公開鍵証明書の発行業務を、同システムのコンソーシアムメンバーであるメモリーカード/端末/サーバ会社および会員会社を含むコンテンツ供給会社、代行のスタジオ事業者に向けて開始しました。

同セキュリティ計画書は、同システムのコンソーシアム参加機関へのセキュリティ組み込みの徹底を行なうと同時に、会員各社に配布され、同システム利用の判断及び契約書への関連付け等に活用されることになります。

なお、その他の携帯電話/PHS事業者による音楽配信の動向は、NTTドコモがモニター実験を終了し、近日中に商用化サービスを行なう予定です。また、日本テレコム系のJフォンも、今年春に次世代携帯電話での音楽配信を計画中です。

これらを受けて、すでに、CSMセンターではNTTドコモに対しセキュリティ計画書の作成および策定の手配を行い、センターとNTTドコモの両者によるセキュリティ環境の確認作業をスタートさせました。Jフォンについてもセキュリティ計画書策定作業の了承を得て準備に入っています。

同センターは、音楽配信のセキュリティを第一ステップとして事業をスタートしましたが、今後さらに、各

キャリアで計画しているプロモーション用動画配信に対するセキュリティについても検討していく予定です。

IFPIアジア/太平洋地域理事会開催

去る11月29日（水）、中国・上海において、第8回アジア/太平洋地域理事会が開催されました。

上海は中国本土の経済の中心地であり、且つ中国市場参入への拠点とされているため、IFPIの戦略展開上重要なこの地で今回の会議が開催されました。

会議に先立ち、当協会富塚会長を含むIFPIの幹部が上海市長を表敬訪問し、世界のレコード産業の活動への理解を求め、意見交換を行いました。

会議では、最初に海賊版の状況について、①この地域の海賊問題が相変わらず深刻で、引き続き世界の音楽市場への供給基地とされていること、②中国の音楽市場の90%が海賊版で占められていること、③台湾とマレーシアで特別に編成された海賊取締りチームが効果を上げていること等が報告されました。

海賊関係以外では、各国におけるWTO（世界貿易機関）の知的所有権合意実施のための法制と権利執行状況、WIPOの条約の批准状況等について報告と意見交換が行われました。

今回の会議で特筆されるべきことは、韓国の国内レコード産業団体（RIAK）が初めてオブザーバーとして参加したことです。韓国にはインターナショナル・メジャー・レーベルが会員となっているIFPIの地域連絡事務所がありますが、国内産業団体とIFPIが共同して活動できる基盤が構築されていません。そのため、両団体の統合の途が模索されていましたが、今回のRIAKの参加はその布石として大きな契機となったと評価されています。

不正商品対策協議会タイ・マレーシア視察

不正商品対策協議会は平成12年11月26日（日）～12月2日（土）の7日間にわたり、タイ・マレーシアを訪問し、不正商品（海賊版等）の実態調査などを行いました。

マレーシアでは、マレーシア国内取引消費者問題省およびロイヤルマレーシア警察庁刑事局商業犯罪課を訪問し、マレーシア国内の不正商品を排除するための活動について説明を受けました。マレーシアでは、本年「光学ディスク法」が施行され、すべての光学ディスク工場がSIDコード（工場を認識できる記号）を持つことが義務付けられ、国内における海賊版ディスク（CD、CD-

ROM等)の製造は減少していくものと思われます。

クアラルンプール市内では、大規模ショッピングセンターおよびチャイナタウンの市場視察を行いました。日本の権利者の侵害品としては、キャラクター商品およびゲームソフトの違法複製品が多く目に付きましました。また、ショッピングセンターでは非常に多くの洋画の違法複製ビデオCDが通常に販売されています。チャイナタウンでは、洋楽の違法複製音楽CDや偽ブランド品の販売もかなり行われていました。

タイでは、タイ王国警察庁経済犯罪捜査局、タイ商務省知的財産局を訪問し、マレーシア同様に不正商品の状況等について説明を受け、意見交換を行いました。以前はタイ国内には違法CD工場が15ヶ所ほどありましたが、警察および商務省の捜索、検挙の結果、同国内における違法CD工場は一掃されました。しかし、現在、違法CD工場がタイ・カンボジア・ミャンマーの国境地帯に存在し、そこで製造された違法CDが近隣諸国で販売されているとの説明を受けました。

バンコク市内のパンティッププラザ(通称コンピュータプラザ)の視察では、マレーシア同様、ゲームソフトの違法複製品が多く販売されていました。

マレーシア、タイにおいては、日本のレコード製作者の権利を侵害する商品はそれ程多くありませんでしたが、「SPEED」や「宇多田ヒカル」のプロモーションビデオを違法複製したビデオCDの販売が見受けられました。

なお、不正商品対策協議会では、平成13年2月9日(金)に「アジア知的所有権シンポジウム2001」を開催し、世界における知的財産の保護と不正商品の排除について権利執行責任者を海外から招き、討論等を行う予定です。

第7回日本プロ音楽録音賞授賞式

第7回の日本プロ音楽録音賞の授賞式が去る12月6日(水)、虎ノ門パストラルで行われました。本誌11月号でノミネート作品のご紹介をしていますので、今回は優秀作品の受賞者およびタイトル・CD番号・放送番組名などをお知らせします。(敬称略/順不同)

部門1：クラシック・ジャズ

- CD「イリュージョン」より
＜Turning Of The Dream＞ビクターVICJ-60553
／本田雅人
エンジニア：高田英男(ビクターエンタテインメント)他

- CD「アランフェス協奏曲」より
＜タンゴ・アン・スカイ＞ビクターVICC-60192
／村治佳織(g)他
エンジニア：服部文雄(ビクターエンタテインメント)他

部門2：ポップス・ロック

優秀作品該当なしのため、奨励賞4作品を表彰しました。

- CD「Keno Breathe」より
＜6月の雨＞ユニバーサルビクターMVCH-29046
／Keno
エンジニア：加納洋一郎(ミキサーズ・ラボ)他
- CDシングル「INSIDE」
＜INSIDE＞ソニー・ミュージックAICT-1219
／藤井フミヤ
エンジニア：下重修(ミキサーズ・ラボ)他

- CDシングル「Regina」
＜Regina＞ポリドールPOCH-1846/彩月
エンジニア：太田安彦(ソニー・ミュージックエンタテインメント)他

- CDシングル「TSUNAMI」
＜TSUNAMI＞ビクターVIDL30475A
／サザンオールスターズ
エンジニア：林憲一(ビクターエンタテインメント)他

部門3：オーディオビジュアルパッケージ

該当作品なし

部門4：放送

- TV放送番組「N響コンサート」より
＜ストラビンスキー組曲「火の鳥」＞
I. フィッシャー指揮NHK交響楽団
NHK BSTV 2000年2月5日放送
エンジニア：岡崎浩二
(NHK制作技術センター)他
- TV放送番組「ワンドラマ・クラシックス」より
＜ダルラピッコラ：オペラ「囚われびと」＞
NHK BSTV 2000年8月11日放送
エンジニア：南裕幸
(NHKテクニカルサービス関西)他

第7回FMフォーラム

第7回FMフォーラムが以下の要領で開催されます。
日時：3月2日(金)13:00～(予定)
会場：八芳園
内容：パネルディスカッション、ライブ他

■アルバム (33作品)

【邦 楽】

●2ミリオン

バラッド3～the album of LOVE～/サザンオール
スターズ/2000.11.22 (V)

●ミリオン

THE HISTORY OF SHOGO HAMADA "SINCE
1975"/浜田省吾/2000.11.08 (SME)

●ダブル・プラチナ

トビラ/ゆず/2000.11.01 (SN)

●プラチナ

ダイヤモンド/矢井田 瞳/2000.10.25 (TO)
2 souls/花*花/2000.10.25 (WJ)
Caramel Milk - The Best of Chara -/Chara/
2000.11.01 (SME)
Koyanagi the Christmas～ホワイト・クリスマ
ス/小柳ゆき/2000.11.15 (WJ)
Souvenir～Mariya Takeuchi Live/竹内まりや/
2000.11.22 (WJ)

●ゴールド

BLANKEY JET CITY 1997-2000/BLANKEY
JET CITY/2000.10.25 (PO)
MINDTRAVEL/bird/2000.11.22 (SME)
fetish/布袋寅泰/2000.11.29 (TO)
太陽/槇原敬之/2000.11.29 (WJ)

【洋 楽】

●ミリオン

～ザ・モスト・リラクシング～ フィール/V.A./
2000.03.23 (TO)
image/V.A./2000.08.23 (SME)
ザ・ビートルズ 1 /ザ・ビートルズ/
2000.11.13 (TO)

●ダブル・プラチナ

ア・デイ・ウィズアウト・レイン/エンヤ/
2000.11.11 (WJ)

●プラチナ

ブラン・ニュー・デイ/スティング/1999.09.22
(UM)
アクエリアス/アクア/2000.02.28 (UM)
レニー・クラヴィッツ・グレイテスト・ヒッツ/レ
ニー・クラヴィッツ/2000.10.18 (TO)
サウンド・ローデッド/リッキー・マーティン/
2000.11.08 (SME)
コンスピラシー・オヴ・ワン/OFFSPRING/
2000.11.08 (SME)
MAX BEST/V.A./2000.11.22 (SME)

●ゴールド

シグニフィカント・アザー/リンプ・ビズキット/
1999.06.18 (UM)
エクスターミネーター/プライマル・スクリーム/
2000.01.19 (SME)
SPIRITUALIZED/SPEECH/2000.01.26
(TO)
プレイメイト・オブ・ザ・イヤール/
ZEBRAHEAD/2000.08.02 (SME)
pure/V.A./2000.09.20 (UM)
ダンスマニア・ダイヤモンド・ミレニアム/V.A./
2000.11.01 (TO)
グレイテスト・ヒッツ/ベイビーフェイス/
2000.11.08 (SME)
ラヴァーズ・ロック/シャーデー/2000.11.08
(SME)
ホーリー・ウッド～イン・ザ・シャドウ・オブ・
ザ・ヴァリー・オブ・デス/マリリン・マンソン/
2000.11.11 (UM)
ファミリアー・トゥ・ミリオンズ/オアシス/
2000.11.15 (SME)
music of the millennium/V.A./2000.11.29
(UM)

■シングル (13作品)

【邦 楽】

●トリプル・プラチナ

Everything/Misia/2000.10.25 (BMG)

●プラチナ

さよなら大好きなひと/花*花/2000.10.25
(WJ)
この青い空、みどり/サザンオールスターズ/
2000.11.01 (V)
感謝カンゲキ雨嵐/嵐/2000.11.08 (PC)
Reach for the sky/倉木麻衣/2000.11.08
(BG)
Missing You/GLAY/2000.11.15 (PC)

●ゴールド

夜明け/天童よしみ/2000.03.01 (TE)
AUDIENCE/浜崎あゆみ/2000.11.01 (AVT)
angel song -イヴの鐘-/the brilliant green/
2000.11.15 (SME)
NIGHT MARE/SADS/2000.11.16 (TO)
DREAMS COME TRUE/24//DREAMS COME
TRUE/2000.11.22 (TO)
背景ロマン/19 (ジューク) /2000.11.29 (V)
Lily'se.p./Dragon Ash/2000.11.29 (V)

※AR: アンティノスレコード/AVT: エイベックス/BG: ビーグラムレコーズ/BM: ルームスレコーズ/BMG: BMGファンハウス/C: 日本コロムビア/CA: カナリー企画/CR: 日本クラウン/CT: カッティング・エッジ/EP: ゼティマ/EW: イーストウエスト・ジャパン/FL: フォーライフレコード/GZ: ギザ/JE: ジャニーズ・エンタテインメント/JF: J-FRIENDS P./K: キングレコード/ME: メルダック/MME: マーキュリー・ミュージックエンタテインメント/PC: ポニーキャニオン/PG: ポリグラム/PI: パイオニアLDC/PO: ポリドール/PS: ポリスター/PZ: ビザ・オブ・デス・レコーズ/SME: ソニー・ミュージックエンタテインメント/SN: SENHA & CO./TE: テイチクエンタテインメント/TF: トイズ・ファクトリー/TJC: 徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO: 東芝EMI/UM: ユニバーサルミュージック/V: ビクターエンタテインメント/VAP: バップ/WJ: ワーナーミュージック・ジャパン/ZA: ズアインレコーズ

レコード生産実績

2000年11月度(00年11月1日～00年11月30日)

社団法人 日本レコード協会

数量：千枚・巻

単位

金額：百万円

表1. オーディオレコード

	11月 実績						2000年(1月～11月) 累計							
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比		
シングル	8cm CD	邦	1,896	4	48	338	1	13	31,739	8	38	14,513	3	28
		洋	184	0	679	14	0	80	307	0	46	96	0	25
		計	2,080	5	53	352	1	14	32,047	8	38	14,608	3	28
	12cm CD	邦	8,604	19	104	6,775	12	109	96,852	24	182	76,390	15	187
		洋	93	0	109	71	0	102	857	0	68	736	0	70
		計	8,697	19	104	6,847	12	109	97,710	24	179	77,126	16	185
	小計	邦	10,500	23	86	7,113	12	81	128,592	32	95	90,903	18	98
		洋	277	1	247	86	0	97	1,165	0	60	832	0	58
		計	10,777	23	88	7,199	12	81	129,757	33	94	91,734	18	98
12cm CD アルバム	邦	24,192	52	151	35,701	61	137	180,684	45	103	287,303	58	96	
	洋	9,411	20	91	13,904	24	90	70,989	18	96	102,425	21	92	
	計	33,603	73	127	49,605	85	119	251,673	63	101	389,728	79	95	
CD 合計	邦	34,691	75	123	42,814	74	123	309,276	78	99	378,205	76	97	
	洋	9,688	21	93	13,990	24	90	72,154	18	95	103,257	21	92	
	計	44,379	96	115	56,804	98	113	381,429	96	98	481,462	97	96	
アナログ ディスク	邦	121	0	44	125	0	32	1,522	0	63	1,543	0	54	
	洋	28	0	186	36	0	212	272	0	68	384	0	72	
	計	149	0	51	161	0	40	1,794	0	63	1,928	0	56	
カセット テープ	邦	1,611	3	112	1,224	2	103	15,569	4	99	12,521	3	95	
	洋	7	0	177	8	0	172	79	0	98	72	0	93	
	計	1,618	4	113	1,232	2	103	15,647	4	99	12,593	3	95	
総合計	邦	36,424	79	122	44,163	76	121	326,366	82	99	392,270	79	96	
	洋	9,723	21	93	14,034	24	90	72,505	18	95	103,714	21	92	
	計	46,147	100	114	58,197	100	112	398,871	100	98	495,983	100	95	

表2. ビデオレコード

	11月 実績						2000年(1月～11月) 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	2,699	56	410	5,848	43	329	20,111	47	388	47,546	39	378
LD・その他	270	6	81	426	3	60	3,007	7	68	5,804	5	55
テープ	1,873	39	72	7,184	53	79	19,331	46	92	68,743	56	94
合計	4,842	100	134	13,457	100	116	42,449	100	139	122,092	100	127

表3. オーディオ/ビデオ合計

	11月 実績						2000年(1月～11月) 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	46,147	91	114	58,197	81	112	398,871	90	98	495,983	80	95
ビデオ	4,842	9	134	13,457	19	116	42,449	10	139	122,092	20	127
合計	50,989	100	116	71,655	100	113	441,320	100	101	618,075	100	100

<参考>表4. 複合型CD (CD-G、CD-I、CD-ROMなど)

	11月 実績						2000年(1月～11月) 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦盤	15,048	100	73	1,428	100	53	160,698	100	111	17,356	100	84
洋盤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	15,048	100	73	1,428	100	53	160,698	100	111	17,356	100	84

備考 1. 本年実績は、会員会社「24社」の集計である。当会員会社が受託した非会員会社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

迎春

社団法人日本レコード協会会員社（加盟・創立順）

正 会 員

日本コロムビア株式会社	〒107-8011 港区赤坂4-14-14	03-3584-8111
ビクターエンタテインメント株式会社	〒107-0061 港区北青山3-6-7 パラシオタワー	03-5467-5401
キングレコード株式会社	〒112-0013 文京区音羽1-2-3	03-3945-2131
株式会社テイチクエンタテインメント	〒150-8516 渋谷区神宮前6-27-8 京セラ原宿ビル6F	03-5778-1721
ユニバーサルミュージック株式会社	〒153-0044 目黒区大橋1-8-4	03-3780-8501
東芝EMI株式会社	〒107-8510 港区赤坂2-2-17	03-5512-1700
日本クラウン株式会社	〒107-8405 港区赤坂2-10-8 信和ビル	03-3582-4741
株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ	〒105-8620 港区東新橋1-1-16 徳間書店本社ビル	03-3573-0370
株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント	〒162-8715 新宿区市谷田町1-4	03-3266-5995
株式会社ポニーキャニオン	〒105-8487 港区虎ノ門2-5-10	03-5521-8000
株式会社ワーナーミュージック・ジャパン	〒107-8639 港区北青山3-1-2	03-5412-3111
株式会社フォーライフレコード	〒154-8558 世田谷区池尻3-28-8	03-5430-3106
株式会社バップ	〒102-0081 千代田区四番町5-6 日本テレビ四番町別館4F	03-3234-5711
株式会社BMGFANハウス	〒150-8350 渋谷区渋谷1-3-9	03-3797-9020
株式会社メルダック	〒107-0052 港区赤坂2-17-58 小林ビル3・4F	03-5562-2810
バイオニアLDG株式会社	〒150-8506 渋谷区恵比寿南1-20-6	03-5721-1351
株式会社ビーグラムレコーズ	〒106-0032 港区六本木5-2-2 森本六本木ビル6F	03-3479-2371
エイベックス株式会社	〒107-8577 港区南青山3-1-30 住友生命青山ビル	03-5413-8550
株式会社プライエイド・レコーズ	〒150-8955 渋谷区恵比寿南2-14-6	03-3710-0510
株式会社ジャニーズ・エンタテインメント	〒107-0052 港区赤坂7-10-20	03-5570-0808

準 会 員

ロードランナー・ジャパン株式会社	〒150-0041 渋谷区神南1-6-6 オザワ・ビル5F	03-3463-6907
------------------	-------------------------------	--------------

賛 助 会 員

株式会社デジタル・メディア・ラボ	〒107-0052 港区赤坂6-6-20 テルウェル赤坂ビル2F	03-3505-8062
株式会社キングインターナショナル	〒112-0013 文京区音羽1-2-3	03-3945-2333
ベルウッド・レコード株式会社	〒112-0013 文京区音羽1-2-3	03-3945-2303

レコード・CDの再販制度は、 日本の音楽文化を育てています。

再販制度により、日本では数多くの作品が発表されています。
それにより消費者（音楽ファン）には、「商品選択の場」が確保され、
また、多くの作家、実演家には幅広いチャンスが与えられるとともに、
次世代を担う新しい才能が生まれています。

RIA Recording Industry Association of Japan 2001年1月号

発行人 富塚 勇
編集人 木村 三郎
発行日 2001年1月10日
発行 社団法人 日本レコード協会
〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-3 日鐵木挽ビル2F
TEL.03-3541-4411 (代)
FAX.03-3541-4460 (代)
URL:<http://www.jmusic.ne.jp/>
:<http://riaj.japan-music.or.jp/>